

資料3-①

第2次健康おたる21関連事業  
事業経過シート

## 第2次健康おたる21関連事業

| 施策No. | 領域           | 施策                          | 担当                 | 頁  |
|-------|--------------|-----------------------------|--------------------|----|
| 1     | がん、循環器、糖尿病領域 | 地域連携によるがん検診の普及啓発推進          | 地域保健・栄養SG          | 3  |
| 2     | がん、循環器、糖尿病領域 | 地域連携による特定健康診査・特定保健指導の普及啓発推進 | 福祉保険部<br>地域保健・栄養SG | 4  |
| 3     | がん、循環器、糖尿病領域 | 血圧自己測定推進                    | 地域保健・栄養SG          | 5  |
| 4     | がん、循環器、糖尿病領域 | ウォーキング推進事業                  | 地域保健・栄養SG          | 6  |
| 5     | がん、循環器、糖尿病領域 | おいしい空気の施設推進                 | 地域保健・栄養SG          | 7  |
| 6     | がん、循環器、糖尿病領域 | 禁煙の支援                       | 担当主幹               | 8  |
| 7     | がん、循環器、糖尿病領域 | ヘルシーメニュー事業                  | 地域保健・栄養SG          | 9  |
| 8     | がん、循環器、糖尿病領域 | 毎日朝食をとる、家族の誰かと一緒に朝食をとる      | 地域保健・栄養SG          | 10 |
| 9     | がん、循環器、糖尿病領域 | 食事バランスガイド活用の推進              | 地域保健・栄養SG          | 11 |
| 10    | がん、循環器、糖尿病領域 | 栄養成分表示の店推進                  | 地域保健・栄養SG          | 12 |
| 11    | 精神保健領域       | 悩みの相談窓口の周知啓発推進              | 精神・感染症SG           | 13 |
| 12    | 感染症領域        | 麻疹ワクチン接種の推進                 | 精神・感染症SG           | 14 |
| 13    | 口腔保健領域       | 効果的な歯みがきの普及                 | 担当主幹               | 15 |
| 14    | 口腔保健領域       | 歯周病セルフチェックの普及               | 担当主幹               | 16 |
| 15    | 口腔保健領域       | むし歯のない3歳児を増やす               | 地域保健・栄養SG          | 17 |
| 16    | 次世代の健康づくり    | 思春期の健康教育推進                  | こども未来部             | 18 |
| 17    | 全般           | 第2次健康おたる21普及・啓発             | 事務局                | 19 |
|       | 年度別目標達成状況    | 後期計画策定シート                   | 事務局                | 20 |

| 施策No. | 領域           | 施策                 | 担当     |
|-------|--------------|--------------------|--------|
| 1     | がん、循環器、糖尿病領域 | 地域連携によるがん検診の普及啓発推進 | 地域保健SG |

目的:各分野における健康教育等を活用し、新たな団体等に対して重点的に普及啓発を図る。

目標:がん検診受診率の増加

|      | 令和2年度  | 令和3年度  | 令和4年度(見込)  |
|------|--|--|--|
| 実施内容 | <p>【がん検診の周知、啓発】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>健康教育による啓発</li> <li>広報おたるでの検診周知</li> </ul> <p>【がん検診実施の工夫】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>町内会館などでの特定健診とがん検診の同時実施</li> <li>市内医療機関で、各種がん検診を継続</li> <li>胃内視鏡検診運営委員会の開催、研修会の実施</li> <li>子宮頸がん自己検診受診事業の継続</li> </ul> | <p>【がん検診の周知、啓発】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>健康教育による啓発</li> <li>広報おたるでの検診周知</li> </ul> <p>【がん検診実施の工夫】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>町内会館などでの特定健診とがん検診の同時実施</li> <li>市内医療機関で、各種がん検診を継続</li> <li>胃内視鏡検診運営委員会の開催、研修会の実施</li> <li>子宮頸がん自己検診受診事業の継続</li> </ul> | <p>【がん検診の周知、啓発】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>健康教育による啓発</li> <li>広報おたるでの検診周知</li> </ul> <p>【がん検診実施の工夫】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>町内会館などでの特定健診とがん検診の同時実施</li> <li>市内医療機関で、各種がん検診を継続</li> <li>胃内視鏡検診運営委員会の開催、研修会の実施</li> <li>子宮頸がん自己検診受診事業の継続</li> </ul> |
| 評価   | <p>【受診率】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>胃がん検診:4.0%(前年比-1.6ポイント)</li> <li>肺がん検診:4.6%(前年比-2.9ポイント)</li> <li>大腸がん検診:11.6%(前年比-2.4ポイント)</li> <li>子宮頸がん検診:26.6%(前年比+0.7ポイント)</li> <li>乳がん検診:20.0%(前年比-2.5%)</li> </ul>  | <p>【受診率】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>胃がん検診:4.2%(前年比+0.1ポイント)</li> <li>肺がん検診:5.1%(前年比+0.6ポイント)</li> <li>大腸がん検診:12.3%(前年比+0.8ポイント)</li> <li>子宮頸がん検診:24.4%(前年比-2.2ポイント)</li> <li>乳がん検診:18.7%(前年比-1.3%)</li> </ul>  | <p>【受診率】(R4.11月末)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>胃がん検診:3.3%(前年比-0.9ポイント)</li> <li>肺がん検診:4.6%(前年比-0.5ポイント)</li> <li>大腸がん検診:9.5%(前年比-2.8ポイント)</li> <li>子宮頸がん検診:21.7%(前年比-2.7ポイント)</li> <li>乳がん検診:17.2%(前年比-1.6%)</li> </ul>  |
| 改善点  | <p>新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、開催を中止した期間があった。また受診控えがあったとみられ、子宮頸がん以外の受診率は低下した。ホームページ、新聞折り込み、広報、関係機関での掲示等、今後も必要な啓発は継続する。令和2年度から胃がん検診(胃内視鏡検診)の比較読影を導入し精度の向上につながった。</p>   | <p>子宮頸がん・乳がん以外は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響からやや回復した。受診時に早期がんの段階を超えた者もあることから、ホームページ、新聞折り込み、広報、関係機関での掲示等、今後も必要な啓発は継続する。</p>  | <p>新型コロナウイルス感染症拡大の影響からの回復には時間を要すると思われる。今後は受診率に加えて、精密検査の受診率向上対策も検討する必要がある。ホームページ、新聞折り込み、広報、関係機関での掲示等、今後も必要な啓発は継続する。</p>   |

| 施策No. | 領域           | 施策                          | 担当                 |
|-------|--------------|-----------------------------|--------------------|
| 2     | がん、循環器、糖尿病領域 | 地域連携による特定健康診査・特定保健指導の普及啓発推進 | 地域保健SG・保健総務課・保険年金課 |

目的:各分野における健康教育等を活用し、新たな団体等に対して重点的に普及啓発を図る。

目標:特定健康診査の受診率増加

|      | 令和2年度   | 令和3年度   | 令和4年度(見込)   |
|------|---|---|---|
| 実施内容 | <p>【実施方法の工夫】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・バスツアーけんしん:12回</li> <li>・地域のけんしん:6回</li> <li>・特定健診の愛称を「たるトク健診」として浸透を図る</li> <li>・「小樽のけんしんまるわかりブック」を作成し随時配布。</li> <li>・受診特典として、早期受診者全員にQUOカードの配布。</li> <li>・未受診者への受診勧奨通知の回数、対象者を拡大</li> </ul> <p>【特定保健指導プログラムの工夫】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・行動科学的アプローチ(ナッジ理論)を活用した案内文を作成。</li> </ul> | <p>【実施方法の工夫】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・バスツアーけんしん:9回</li> <li>・地域のけんしん:3回</li> <li>・対象者全員、健診費用の無料化を実施</li> <li>・「小樽のけんしんまるわかりブック」を作成し全戸配布。</li> <li>・受診特典として、早期受診者全員にQUOカードの配布。</li> <li>・行動科学的アプローチ(ナッジ理論)を用いた未受診者への受診勧奨通知送付、電話による受診勧奨の実施。</li> </ul> <p>【特定保健指導プログラムの工夫】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ナッジ理論を活用し、階層化に合わせた案内文及び未利用者への利用再勧奨資材を作成。</li> <li>・未利用者へ電話による利用勧奨実施。</li> <li>・委託事業者に動機付け支援対象者の特定保健指導を委託。</li> <li>・厚生労働省の大規模実証事業に参加し、特定保健指導未利用者で、心血管病発症リスクが高いと判断された対象者に、追加的な利用再勧奨及び情報提供を実施。</li> </ul> | <p>【特定健康診査受診率向上対策事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・バスツアーけんしん:13回、地域のけんしん:4回、セットけんしん35回、日曜けんしん4回実施。</li> <li>・「小樽のけんしんまるわかりブック」の作成、全戸配布。</li> <li>・健診費用無料化及び早期受診者等へQUOカード提供などのキャンペーンの実施。</li> <li>・ナッジ理論を用いた通知、電話による受診勧奨の実施。</li> <li>・北海道のデータ受領事業先行実施に参加、みなし健診で欠損項目があっても追加実施しデータ提供が可能となるよう医師会等関係団体との調整を実施。</li> </ul> <p>【特定保健指導利用率向上及びプログラムの工夫】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ナッジ理論による通知、電話、訪問での利用勧奨実施。</li> <li>・委託事業者によるICTを活用した保健指導を実施。</li> <li>・厚生労働省の大規模実証事業に継続参加し、SMSを活用した追加的な情報提供を実施。</li> </ul> |
| 評価   | <p>特定健康診査 24.9%(前年比 +5.3ポイント)<br/>           特定保健指導 7.1%(前年比-14.3ポイント)</p> <p>特定健診は、早期受診キャンペーンによるQUOカードの配布、ナッジ理論を用いた未受診者の受診勧奨によって、受診率向上につながった。<br/>           特定保健指導は、新型コロナウイルス感染症まん延の影響により中止時期があったため、大幅な減少となった。</p>  | <p>特定健康診査 27.5%(前年比 +2.6ポイント)<br/>           特定保健指導 15.0%(前年比 +7.9ポイント)</p> <p>特定健診は、令和3年度より健診費用の自己負担を完全無料化し、早期受診キャンペーンやナッジ理論を用いた未受診者の受診勧奨を継続して実施。受診率は前年比で2.6ポイント向上したが、新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言等の影響による受診控えもあったと見られ、全道平均(27.9%)には届かなかった。<br/>           特定保健指導については、健康増進課から保険年金課へ実施主体を移行、委託事業者も活用しながら通年実施を行い、コロナ下にあっても前年より一定程度の回復が見られた。</p>  | <p>特定健康診査 22.0%<br/>           (R4.12 特定健診・特定保健指導進捗・実績管理表より)<br/>           特定保健指導 ー%(令和5.1月時点集計不能)</p> <p>特定健診受診率は、受診率向上対策実施により前年度を上回る見込み。みなし健診は令和4年12月時点で375件(令和3年度実績417件)、提供医療機関数は令和3年度の15件に対し20件と拡大している。自己申告健診は令和4年12月時点で48件と令和3年度実績の47件を上回っている。<br/>           特定保健指導は、訪問による利用勧奨を再開。委託事業者活用によるICTを用いた遠隔面談も導入し、利用率向上を見込んでいる。</p>  |
| 改善点  | <p>次年度は未受診者勧奨に加え、健診費用無料化、QUOカード配布の継続、特定保健指導は委託事業者への実施委託など行い、受診率、利用率の向上を図る。</p>  | <p>特定健診の受診率向上について、次年度は健診無料化及び未受診者勧奨、受診キャンペーンの継続を行うとともに、北海道が令和5年度に全道展開を行うデータ受領事業(みなし健診事業)の先行実施へ参加し、スキームの確立を行うとともに、自己申告健診も含めたデータ受領の促進を行うことにより受診率の向上を目指す。<br/>           特定保健指導は、利用者の利便性を重視し、試行的にICTを活用した遠隔面談を実施する。</p>  | <p>インセンティブがなくても受診行動をおこせるよう、意識改革のための啓発を強化していく。<br/>           北海道のデータ受領事業の本格実施に伴い、引き続き医療機関と連携するとともに対象者への周知を工夫し、みなし健診提供数の増加を目指す。<br/>           特定保健指導は、ICTによる遠隔実施の拡大を行い、利用率の向上を目指す。</p>  |

| 施策No. | 領域           | 施策       | 担当     |
|-------|--------------|----------|--------|
| 3     | がん、循環器、糖尿病領域 | 血圧自己測定推進 | 地域保健SG |

目的:各分野における健康教育等を活用し、新たな団体等に対して重点的に普及啓発を図る。

目標:自宅などで血圧測定をする40歳代の増加

|      | 令和2年度  | 令和3年度  | 令和4年度(見込)  |
|------|--|--|--|
| 実施内容 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・健康教育、健康相談等での普及啓発</li> <li>・特定保健指導、その他保健指導での実施勧奨</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・健康教育、健康相談等での普及啓発</li> <li>・特定保健指導、その他保健指導での実施勧奨</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・健康教育、健康相談等での普及啓発</li> <li>・特定保健指導、その他保健指導での実施勧奨</li> </ul> |
| 評価   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・特定保健指導等 27名に勧奨</li> </ul>                                  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・特定保健指導等 20名に勧奨</li> <li>・健康増進法による保健指導 3名に実施</li> </ul>     | <ul style="list-style-type: none"> <li>・健康増進法による保健指導 3名に実施(R4.11月末)</li> </ul>                     |
| 改善点  | <p>新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、健康教育やイベント開催が中止されたが、今後も様々な機会を活用し、啓発を継続することとする。</p>                          | <p>新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、前年度同様に対象数自体が少ない傾向だった。今後も様々な機会を活用し、啓発を継続することとする。</p>                        | <p>新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、前年度同様に対象数自体が少ない傾向だった。今後は連携協定の企業の協力も得て、総合的に高血圧対策を推進する必要がある。</p>             |

| 施策No. | 領域           | 施策         | 担当     |
|-------|--------------|------------|--------|
| 4     | がん、循環器、糖尿病領域 | ウォーキング推進事業 | 地域保健SG |

目的:各分野における健康教育等を活用し、新たな団体等に対して重点的に普及啓発を図る。

目標:ウォーキングサポーターを20名養成し、市民への普及を行う

|      | 令和2年度   | 令和3年度   | 令和4年度(見込)   |
|------|---|---|---|
| 実施内容 | <ul style="list-style-type: none"> <li>ウォーキングサポーターへのフォローアップ研修</li> <li>ウォーキングサポーターと協働して、上記研修会の内容を協議</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>ウォーキングサポーターへのフォローアップ研修</li> <li>ウォーキングサポーターと協働して、活動の場の拡大を協議</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>ウォーキングサポーター養成講座</li> <li>ウォーキングサポーターへのフォローアップ研修</li> </ul>   |
| 評価   | <ul style="list-style-type: none"> <li>ウォーキングサポーターへのフォローアップ研修(書面開催)参加58名</li> <li>書面開催の資料として講師資料のほか、ウォーキングサポーターによる新型コロナ感染対策を取り入れた活動報告や、室内や個人でできるポールを使ったストレッチに関する資料を情報共有した。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>ウォーキングサポーターへのフォローアップ研修(オンライン講演)参加21名</li> <li>新型コロナウイルス感染症予防のためオンラインによる講演とし、参加者は会場への来所とオンラインによる講演を選択できるようにした。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>ウォーキングサポーター養成講座 参加6名</li> <li>ウォーキングサポーターへのフォローアップ研修(対面研修)参加23名</li> <li>感染症対策を講じ、養成講座を平成31年度振りに開催することができた。フォローアップ研修は会場に講師を招き対面での研修を行うことができた。</li> </ul> |
| 改善点  | <p>新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、ウォーキングサポーター養成講座は開催を中止した。サポーターの活動であるタウンノルディックウォーキングも5回開催予定のうち実施は2回となったが、今後もサポーターと協働して、ウォーキングの普及・啓発を行っていく。</p>  | <p>新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、今年度もウォーキングサポーター養成講座は開催を中止となった。フォローアップ研修はオンラインによる開催を初めて実施でき、今後も新型コロナウイルス流行時でも実施可能な方法を検討していく。</p>   | <p>サポーターの高齢化による会員数の減少が課題となっており、新たなサポーター獲得のため今後もサポーターと協働してウォーキングの普及・啓発を行っていく。介護予防教室など新たな場での普及活動を検討していく。</p>  |

| 施策No. | 領域           | 施策          | 担当     |
|-------|--------------|-------------|--------|
| 5     | がん、循環器、糖尿病領域 | おいしい空気の施設推進 | 地域保健SG |

目的:各分野における健康教育等を活用し、新たな団体等に対して重点的に普及啓発を図る。

目標:おいしい空気の施設登録件数の増加

|      | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度(見込) |
|------|-------|-------|-----------|
| 実施内容 |       |       |           |
| 評価   |       |       |           |
| 改善点  |       |       |           |

| 施策No. | 領域           | 施策    | 担当     |
|-------|--------------|-------|--------|
| 6     | がん、循環器、糖尿病領域 | 禁煙の支援 | 地域保健SG |

目的:各分野における健康教育等を活用し、新たな団体等に対して重点的に普及啓発を図る。

目標:禁煙宣言者の増加

|      | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度(見込) |
|------|-------|-------|-----------|
| 実施内容 |       |       |           |
| 評価   |       |       |           |
| 改善点  |       |       |           |

| 施策No. | 領域           | 施策         | 担当      |
|-------|--------------|------------|---------|
| 7     | がん、循環器、糖尿病領域 | ヘルシーメニュー事業 | 歯科・栄養SG |

目的:各分野における健康教育等を活用し、新たな団体等に対して重点的に普及啓発を図る。

目標:食品中の食塩や脂肪の低減に取り組む飲食店などの登録件数の増加(「おたる・ヘルシーメニュー」事業登録店の増加)

|      | 令和2年度   | 令和3年度 | 令和4年度(見込) |
|------|---|-------|-----------|
| 実施内容 | 「ほっかいどうヘルスサポートレストラン」事業へ移行。<br>・事業内容の周知及び登録店への周知に努める。<br>・市ホームページへ掲載<br>・FMおたるでの周知 |       |           |
| 評価   |   |       |           |
| 改善点  |   |       |           |

| 施策No. | 領域           | 施策                     | 担当      |
|-------|--------------|------------------------|---------|
| 8     | がん、循環器、糖尿病領域 | 毎日朝食をとる、家族の誰かと一緒に朝食をとる | 歯科・栄養SG |

目的:各分野における健康教育等を活用し、新たな団体等に対して重点的に普及啓発を図る。

目標:毎日朝食をとる人の増加、家族の誰かと一緒に朝食をとる割合の増加

|      | 令和2年度   | 令和3年度   | 令和4年度(見込)  |
|------|---|---|--|
| 実施内容 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・栄養摂取につながる正しい食習慣の知識の普及として、全ての栄養改善事業と市内幼稚園、保育施設、健康増進課へ依頼があった健康教育参加者に対し、リーフレットを配布する。</li> <li>・乳幼児健診時の保護者向けにリーフレットを作成、配付する。</li> <li>・市ホームページに掲載</li> </ul>                      | <ul style="list-style-type: none"> <li>・栄養摂取につながる正しい食習慣の知識の普及として、全ての栄養改善事業と市内幼稚園、保育施設、健康増進課へ依頼があった健康教育参加者に対し、リーフレットを配布する。</li> <li>・乳幼児健診時の保護者向けにリーフレットを作成、配付する。</li> <li>・市ホームページに掲載</li> </ul>                      | <ul style="list-style-type: none"> <li>・栄養摂取につながる正しい食習慣の知識の普及として、全ての栄養改善事業と市内幼稚園、保育施設、健康増進課へ依頼があった健康教育参加者に対し、リーフレットを配布する。</li> <li>・乳幼児健診時の保護者向けにリーフレットを作成、配付する。</li> <li>・市ホームページに掲載</li> </ul>                                     |
| 評価   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・周知リーフレット配布数:6,057枚</li> <li>・乳幼児健診時に朝食摂取についてアンケートを実施&lt;毎日朝食を食べている保護者の割合&gt;<br/>(10か月児健診)90.7%(49人/54人)<br/>(1歳6か月児健診)84.1%(138人/164人)<br/>(3歳児健診)84.8%(89人/105人)</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・周知リーフレット配布数:6,687枚</li> <li>・乳幼児健診時に朝食摂取についてアンケートを実施&lt;毎日朝食を食べている保護者の割合&gt;<br/>(10か月児健診)77.1%(293人/380人)<br/>(1歳6か月児健診)76.2%(80人/105人)<br/>(3歳児健診)79.7%(63人/79人)</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・周知リーフレット配布数:6,000枚</li> <li>・乳幼児健診時に朝食摂取についてアンケートを実施&lt;毎日朝食を食べている保護者の割合&gt;<br/>(10か月児健診)68.6%(269人/392人)<br/>(1歳6か月児健診)78.8%(67人/85人)<br/>(3歳児健診)71.7%(38人/53人)<br/>※令和4年12月末現在</li> </ul> |
| 改善点  | <p>今後も周知・啓発のために、これまでの実施を継続する。特に乳幼児健診の保護者世代の欠食が多いので、健診時に朝食摂取の聞き取り、リーフレットの配布等、普及、啓発を引き続き強化する。</p>   | <p>今後も周知・啓発のために、これまでの実施を継続する。特に乳幼児健診の保護者世代の欠食が多いので、健診時に朝食摂取の聞き取り、リーフレットの配布等、普及、啓発を引き続き強化する。</p>   | <p>働き世代や子育て世代の朝食欠食率が高いため、様々な媒体を活用し、朝食の重要性や実践・継続しやすい取組方法等の周知、啓発を強化する。</p>   |

| 施策No. | 領域           | 施策             | 担当      |
|-------|--------------|----------------|---------|
| 9     | がん、循環器、糖尿病領域 | 食事バランスガイド活用の推進 | 歯科・栄養SG |

目的:各分野における健康教育等を活用し、新たな団体等に対して重点的に普及啓発を図る。

目標:・食事バランスガイドを参考に食事をする市民の増加      ・生活習慣病予防のために食生活改善を意識している人の割合の増加

|      | 令和2年度   | 令和3年度   | 令和4年度(見込)   |
|------|---|---|---|
| 実施内容 | ・適切な栄養摂取につながる正しい食習慣の知識の普及として、栄養改善事業や健康増進課へ依頼があった健康教育で普及・啓発のための講話を実施する。また参加者に対しリーフレットを配布する。<br>・市ホームページに掲載 | ・適切な栄養摂取につながる正しい食習慣の知識の普及として、栄養改善事業や健康増進課へ依頼があった健康教育で普及・啓発のための講話を実施する。また参加者に対しリーフレットを配布する。<br>・市ホームページに掲載 | ・適切な栄養摂取につながる正しい食習慣の知識の普及として、栄養改善事業や健康増進課へ依頼があった健康教育で普及・啓発のための講話を実施する。また参加者に対しリーフレットを配布する。<br>・市ホームページに掲載 |
| 評価   | 周知リーフレット配布数:3,457枚  | 周知リーフレット配布数:4,022枚  | 周知リーフレット配布数:3,000枚  |
| 改善点  | 今後も周知・啓発のために、これまでの実施を継続する。  | 今後も周知・啓発のために、これまでの実施を継続する。  | バランスのよい食事や生活習慣病予防の食生活について、様々な媒体を活用し、より実践・継続しやすい内容で周知、啓発を行う。   |

| 施策No. | 領域           | 施策         | 担当      |
|-------|--------------|------------|---------|
| 10    | がん、循環器、糖尿病領域 | 栄養成分表示の店推進 | 歯科・栄養SG |

目的:各分野における健康教育等を活用し、新たな団体等に対して重点的に普及啓発を図る。

目標:「栄養成分表示の店」の登録店の増加

|      | 令和2年度   | 令和3年度 | 令和4年度(見込) |
|------|---|-------|-----------|
| 実施内容 | 「ほっかいどうヘルスサポートレストラン」事業へ移行。<br>・事業内容の周知及び登録店への周知に努める。<br>・市ホームページへ掲載<br>・FMおたるでの周知 |       |           |
| 評価   |   |       |           |
| 改善点  |   |       |           |

| 施策No. | 領域     | 施策             | 担当     |
|-------|--------|----------------|--------|
| 11    | 精神保健領域 | 悩みの相談窓口の周知啓発推進 | 地域保健SG |

目的:各分野における健康教育等を活用し、新たな団体等に対して重点的に普及啓発を図る。

目標:年度内に市民及び関係機関に対し、事業の啓発用チラシを2,500枚以上配布し、周知を図る。

|      | 令和2年度  | 令和3年度   | 令和4年度(見込)  |
|------|--|---|--|
| 実施内容 | 1 街頭啓発キャンペーンの実施<br>2 介護保険施設等へ啓発用チラシを送付<br>3 関係機関へ啓発用チラシを送付<br>4 通常業務における普及啓発活動<br>(健康教育、保健所玄関にチラシ設置、FMおたる、広報おたる)<br>5 小樽市自殺対策協議会を開催して、「小樽市自殺対策計画」の進捗状況を評価する  | 1 街頭啓発キャンペーンの実施<br>2 介護保険施設等へ啓発用チラシを送付<br>3 関係機関へ啓発用チラシを送付<br>4 通常業務における普及啓発活動<br>(健康教育、保健所玄関にチラシ設置、FMおたる、広報おたる)<br>5 小樽市自殺対策協議会を開催して、「小樽市自殺対策計画」の進捗状況を評価する   | 1 障がい者週間イベントで啓発の実施<br>2 働く女性に対して自殺予防、悩みの相談窓口の啓発<br>3 介護予防サポーター、食生活改善推進委員に悩みの自殺予防の講話と相談窓口の啓発を実施<br>4 自殺予防ゲートキーパーに関する講座を実施<br>5 市内小中学校向けのSOS教育実施<br>6 通常業務における普及啓発活動<br>(健康教育、関係機関に啓発チラシ・ポスター送付、保健所玄関にチラシ設置、FMおたる・広報おたるでの啓発)<br>7 小樽市自殺対策協議会を開催して、「小樽市自殺対策計画」の進捗状況を報告  |
| 評価   | (番号は実施内容に対応)<br>1 新型コロナウイルス感染症拡大防止のためキャンペーン関係は中止<br>2、3 介護保険・障害者施設、教育機関、市内一般企業等に自殺予防啓発ポスター365枚、チラシ941枚配布<br>4 広報おたるで自殺予防関連の記事を掲載、3月にFMおたるで啓発。健康教育は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止、保健所玄関前にチラシ50枚設置・配布<br>5 令和2年12月に小樽市自殺対策協議会を书面開催し「小樽市自殺対策計画」の進行状況を報告した。 | (番号は実施内容に対応)<br>1 障がい者週間イベントで相談窓口・自殺予防ポスターを展示し啓発。保健所のこころの健康相談チラシ入りティッシュを347個配布<br>2、3 介護保険・障害者施設、教育機関、市内一般企業等に自殺予防啓発ポスター400枚、チラシ1,045枚配布<br>4 広報おたるで自殺予防関連の記事を掲載、3月にFMおたるで啓発。健康教育は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止<br>5 令和3年11月に小樽市自殺対策協議会を书面開催し「小樽市自殺対策計画」の進行状況を報告した。 | (番号は実施内容に対応)<br>1 障がい者週間イベントで相談窓口・自殺予防ポスターを展示し啓発<br>2 乳幼児健診と、市内保育所に登園する全家庭に配布されるお便り(計2,917枚配布)にうつ病と相談窓口の記事を掲載し啓発<br>3 介護予防サポーター(5回107人)、食生活改善推進委員(23人)に自殺予防の講話と相談窓口の啓発を実施<br>4 悩みの相談を受ける機会が多い2対象(市役所生活支援課22名、介護予防サポーター30名)に自殺予防のゲートキーパー講座を実施。<br>5 市内中学校(1校)で自殺予防のSOS教育を実施。<br>6 自殺予防・相談窓口の啓発として、自殺予防週間・月間時に市内関係機関にポスター414枚、チラシ2,637枚、保健所常設啓発チラシ入りティッシュ300個配布予定。<br>R5.3自殺予防月間に合わせて市役所渡り廊下でパネル展示、FMおたる・広報での啓発を予定。<br>7 小樽市健康増進・自殺対策協議会を開催し、進捗状況の報告と今後の方向性について確認する。 |
| 改善点  | 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、イベントや健康教育等が中止となり啓発機会が少なかったが、悩みを抱えている方が早期に相談機関につながるよう、今後も周知啓発を継続していく。   | 今年度も新型コロナウイルス感染症の流行に伴い、健康教育や各種事業に直接出向いて啓発する機会が中止となったが、各機関への相談窓口一覧や自殺予防ポスターを配布、イベントで自殺予防に関する展示を行い啓発を実施した。悩みを抱えている方が早期に相談機関につながるよう、引き続き周知啓発を継続していく。   | 毎年実施している自殺予防週間・月間での啓発活動に加えて、各機関の協力を得て、今年度は働く女性や悩みの相談受ける機会が多い対象に周知啓発を行うことができた。また、1校ではあるが中学生に対してSOS教育を実施した。昨今の状況から、国も女性と子どもに対する自殺対策に力を入れており、国の動向も踏まえ啓発活動を継続する。   |

| 施策No. | 領域    | 施策          | 担当       |
|-------|-------|-------------|----------|
| 12    | 感染症領域 | 麻疹ワクチン接種の推進 | 結核・感染症SG |

目的: 各分野における健康教育等を活用し、新たな団体等に対して重点的に普及啓発を図る。

目標: 麻しんワクチン接種率95%以上

|      | 令和2年度   | 令和3年度   | 令和4年度(見込)   |
|------|---|---|---|
| 実施内容 | <p>1 対象児への勧奨<br/>【第1期対象者】<br/>①赤ちゃん訪問時勧奨(全戸訪問)<br/>②乳児健診・相談時勧奨<br/>【第2期対象者】<br/>①個別通知<br/>②幼児健診・相談時勧奨</p> <p>2 関係機関との連携(チラシ、ポスター配布)<br/>保育園、幼稚園(7月)、教育委員会、子育て支援課、医療機関</p> | <p>1 対象児への勧奨<br/>【第1期対象者】<br/>①赤ちゃん訪問時勧奨(全戸訪問)<br/>②乳児健診・相談時勧奨<br/>【第2期対象者】<br/>①個別通知<br/>②幼児健診・相談時勧奨</p> <p>2 関係機関との連携(チラシ、ポスター配布)<br/>保育園、幼稚園(7月)、教育委員会、子育て支援課、医療機関</p> | <p>1 対象児への勧奨<br/>【第1期対象者】<br/>①赤ちゃん訪問時勧奨(全戸訪問)<br/>②乳児健診・相談時勧奨<br/>【第2期対象者】<br/>①個別通知<br/>②幼児健診・相談時勧奨</p> <p>2 SNS等を活用した接種勧奨の周知啓発<br/>子育て応援アプリ(母シモ)、フェイスブック、ツイッター、市ホームページを活用し勧奨</p> |
| 評価   | <p>MRワクチン接種率<br/>MRワクチン第1期 95.0%<br/>MRワクチン第2期 93.7%</p>  | <p>MRワクチン接種率<br/>MRワクチン第1期 93.3%<br/>MRワクチン第2期 90.8%</p>  | <p>MRワクチン接種率(令和4年11月末)<br/>MRワクチン第1期 58.0%<br/>MRワクチン第2期 56.9%</p>  |
| 改善点  | <p>今後も接種率の向上に向けて、個別勧奨及び関係機関との連携を継続する。</p>   | <p>接種率はやや減少傾向にあるため、今後も接種率の向上に向けて、子育て世代向けの周知啓発方法について工夫を行う。</p>   | <p>子育て世代向けの周知啓発方法として、SNS等を活用する取組を新たに始めたところであるが、今後も接種率を見ながら効果的な方法を工夫していく。</p>  |

| 施策No. | 領域     | 施策          | 担当   |
|-------|--------|-------------|------|
| 13    | 口腔保健領域 | 効果的な歯みがきの普及 | 担当主幹 |

目的:各分野における健康教育等を活用し、新たな団体等に対して重点的に普及啓発を図る。

目標:①40歳代で進行した歯周病を有する者の減少 ②60歳代で24歯以上自分の歯を有する者の増加

|      | 令和2年度   | 令和3年度  | 令和4年度(見込)   |
|------|---|--|---|
| 実施内容 | 1. 歯間部清掃用具の普及を図るため、幼児健診でリーフレット配布。<br>2. 定期健診受診を勧めるリーフレット作成し、歯科医院で配布。  | 1. 1歳半や3歳児健診の折にも歯間ブラシなどの情報提供をする。<br>2. リーフレットやポスターは、今年度も作成し、歯科医院以外に新たな配布先を開拓する。<br>3. 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため健口講座を中止したことから、感染状況を見ながら、小規模の集団に対して健康講話などを行う。  | ・乳幼児歯科健診や各種施設での歯科健診で歯間ブラシなどの情報提供をする。<br>・広報、回覧板、FMおたる等で口腔ケアの啓発を行った。   |
| 評価   | 1.歯間ブラシ使用勧奨のため3歳児の保護者へリーフレットを配布した。(474枚) 歯間部清掃用具使用率は1歳半の保護者55.2%、3歳児の保護者68.4%。<br>2. 定期健診受診勧奨のため、歯科医院を通じてリーフレットを配布した。(計4,000枚)。ポスターは歯科医院と高齢者施設へ配布し掲示依頼した。(計100枚)<br>3. 小樽市健口講座については新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点から中止した。 | 1.歯間ブラシ使用勧奨のため乳幼児健診の際に保護者へリーフレットを配布した。(1267枚) 歯間部清掃用具使用率は1歳半の保護者60.1%、3歳児の保護者71.5%。<br>2. 定期健診受診勧奨のため、歯科医院を通じてリーフレットを配布した。(計3,000枚)。ポスターは歯科医院と高齢者施設へ配布し掲示依頼した。(計100枚)<br>3. 小樽市健口講座については新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点から中止した。 | 歯間ブラシ使用勧奨のため乳幼児健診の際に保護者へリーフレットを配布した。(1924枚)<br>・1歳半と3歳児保護者の歯間部清掃用具使用率は未取得<br>・口腔ケアの必要性について、回覧板を配布した(6158枚)<br>・小樽市健口講座については新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点から中止した。 |
| 改善点  | ・ポスターについては、後期高齢者の歯科健診を題材にしていることから歯科医院だけでなく、比較的自立度が高いと思われる高齢者施設へも配布した。   | ・引き続き、目標値の達成を目指す。  | ・歯周病の発症は40歳よりも以前から開始するため、引き続き、乳幼児健診の保護者など比較的若い世代へ、歯周病予防の普及に努める。<br>・前年度の取組を実施し、目標値の達成を目指す。  |

| 施策No. | 領域     | 施策            | 担当   |
|-------|--------|---------------|------|
| 14    | 口腔保健領域 | 歯周病セルフチェックの普及 | 担当主幹 |

目的:各分野における健康教育等を活用し、新たな団体等に対して重点的に普及啓発を図る。

目標:①40歳代で進行した歯周病を有する者の減少 ②60歳代で24歯以上自分の歯を有する者の増加

|      | 令和2年度                                  | 令和3年度  | 令和4年度(見込)   |
|------|--|--|---|
| 実施内容 | ・施策13と統合している。                          | ・R3年度作成するポスターやリーフレットに歯周病チェックリストを載せる。   | ・広報やFMおたる等で歯周病予防の啓発を行った。<br>・60歳の市民を対象に、歯科健診事業「還暦の歯科健診」を実施した。   |
| 評価   | ・施策13と統合している。目標値については、次回の市民アンケートで把握する。 | ・施策13と統合している。目標値については、次回の市民アンケートで把握する。<br>・歯科医院を通じてリーフレットを配布した。(計3,000枚)。ポスターは歯科医院と高齢者施設へ配布し掲示依頼した。(計100枚) | ・施策13と結合している。アンケート結果より、①40歳代で進行する歯周病を有する者の割合に変化はなかった。(30.9%:H23年度→25.9%:平成28年度→29.5%:令和3年度)②60歳代で24本以上自分の歯を有する者の割合は増加し、目標を達成した。(39.7%:H23年度→47.7%:平成28年度→52.4%:令和3年度)<br>・歯科健診事業は12月末終了であったため、結果については現時点で未取得。 |
| 改善点  | ・施策13と統合している。目標値については、次回の市民アンケートで把握する。 | ・施策13と統合している。目標値については、次回の市民アンケートで把握する。   | ・歯周病の発症は40歳以前から開始するため、比較的若い世代から、歯周病予防の普及啓発に努める必要がある。<br>・60歳以降の年代についても、今回の結果を維持しさらに改善できるよう、引き続き、普及啓発に努める。   |

| 施策No. | 領域     | 施策                   | 担当      |
|-------|--------|----------------------|---------|
| 15    | 口腔保健領域 | むし歯のない3歳児を増やす(85%以上) | 歯科・栄養SG |

目的: 各分野における健康教育等を活用し、新たな団体等に対して重点的に普及啓発を図る。

目標: むし歯の無い3歳児を85%以上にする(策定時69.8%)

|      | 令和2年度  | 令和3年度   | 令和4年度(見込)  |
|------|--|---|--|
| 実施内容 | <p>① 3歳児健康診査までに3回以上のフッ化物歯面塗布経験児40%以上を維持するため、あらゆる歯科口腔(く)保健事業(乳幼児健診、小児歯科相談、所外施設健診、健康教育等)の場で、定期受診の必要性と効果についての情報提供を行う。</p> <p>[方法]</p> <p>ア. フッ化物歯面塗布利用者へ次回塗布予定月をお知らせする</p> <p>イ. 塗布回数とむし歯の減少についての情報提供を行う。</p> <p>② 小樽の子供のむし歯の罹患型において、上の前歯に限局したむし歯に着目し、その予防対策を行う。</p> <p>[方法]</p> <p>ア. 1歳6か月児及び3歳児健康診査時にリスク診断を行い、児のフロッシング指導を養育者へ実施</p> <p>イ. 口腔ケアについて情報提供を行う。</p> <p>ウ. 保育施設歯科健診時にリスク診断を行い、児へのフロッシングを養育者へ勧奨</p> | <p>① 3歳児健康診査までに3回以上のフッ化物塗布回数を経験する児40%以上にするため、広報誌、ホームページ、リーフレットなど活用し情報提供に努める。</p> <p>[方法]</p> <p>ア.1歳6か月児健康診査でフッ化物を勧めるだけでなく保育施設や幼稚園などへ情報提供リーフレットを配布する。</p> <p>イ.塗布回数とむし歯の減少についての情報提供を行う。</p> <p>ウ.フッ化物歯面塗布利用者へ次回塗布予定付きのお知らせをし、継続利用を勧める。</p> <p>② AF型(上顎前歯部のみのむし歯)の減少について、今後もデンタルフロスの使用を勧める。</p> <p>ア.1歳6か月児や3歳児の健康診査時に保護者への指導を行う。</p> <p>イ.保育施設歯科健診の結果票で、デンタルフロスの使用を勧める。</p> <p>ウ.前歯部の歯磨きについての指導を行う。</p> | <p>① 3歳児健康診査までに3回以上のフッ化物塗布回数を経験する児40%以上にするため、広報誌、ホームページ、リーフレットなど活用し情報提供に努める。</p> <p>[方法]</p> <p>ア.乳幼児健診の他、各種施設での健診・講話の際に、リーフレット等で情報提供する。</p> <p>イ.塗布回数とむし歯の減少についての情報提供を行う。</p> <p>ウ.フッ化物歯面塗布利用者へ次回塗布予定付きのお知らせをし、継続利用を勧める。</p> <p>エ.フッ化物塗布予約にオンラインを活用する。</p> <p>② AF型(上顎前歯部のみのむし歯)の減少について、各種健診や講話の際、デンタルフロスの配布、保護者への指導、情報提供を行う。</p> |
| 評価   | <p>目標: むし歯のない3歳児を85%以上にする⇒実績値83.5%(H30-R2平均値)</p> <p>①3歳児健康診査において3回以上のフッ化物歯面塗布経験児を40%以上に⇒実績値38.6%(H30-R2平均値)</p> <p>②3歳児健康診査において上の前歯のみのむし歯(AF型)を7%以下に⇒実績値8.3%(H30-R2平均値)</p>   | <p>目標: むし歯のない3歳児を85%以上にする⇒実績値85.1%(H31-R3平均値)</p> <p>①3歳児健康診査までに3回以上のフッ化物歯面塗布経験児を40%以上に⇒実績値32.5%(H31-R3平均値)</p> <p>②3歳児健康診査で上の前歯のみのむし歯(AF型)を7%以下に⇒実績値8.1%(H31-R3平均値)</p>  | <p>(直近3年間の平均で算出しているため、実績値は現時点で未取得)</p> <p>参考: むし歯のない3歳児の割合: 85.1%(H31-R3平均値)</p> <p>①3歳児健康診査までに3回以上のフッ化物歯面塗布経験児の割合: 32.5%(H31-R3平均値)</p> <p>②3歳児健康診査で上の前歯のみのむし歯(AF型)の割合: 8.1%(H31-R3平均値)</p>   |
| 改善点  | <p>引き続き、前年度の取組を実施し、目標値の達成を目指す。</p>   | <p>引き続き、前年度の取組を実施し、目標値の達成を目指す。</p>  | <p>引き続き、目標値の達成を目指し、広報等の媒体や、各種講話や健診等での周知啓発に努める。</p>   |

| 施策No. | 領域        | 施策         | 担当           |
|-------|-----------|------------|--------------|
| 16    | 次世代の健康づくり | 思春期の健康教育推進 | こども家庭課・健康増進課 |

目的:各分野における健康教育等を活用し、新たな団体等に対して重点的に普及啓発を図る。

目標:・エイズ、妊娠・避妊について正しい知識を有する割合の増加

|      | 令和2年度   | 令和3年度  | 令和4年度(見込)  |
|------|---|--|--|
| 実施内容 | <p>1 小・中・高等学校に出向き、望まない妊娠、HIVを始めとした性感染症予防、飲酒、喫煙等についての健康教育を実施。</p> <p>2 思春期健康教育の推進について小中校長会及び各高校への周知を行う。</p> <p>3 講話内容の質の向上を目的に、中学生、高校生に対するアンケート調査を実施する。</p>                          | <p>1 小・中・高等学校に出向き、望まない妊娠、HIVを始めとした性感染症予防、飲酒、喫煙等についての健康教育を実施。</p> <p>2 思春期健康教育の推進について小中校長会及び各高校への周知を行う。</p> <p>3 講話内容の質の向上を目的に、中学生、高校生に対するアンケート調査を実施する。</p>   | <p>1 小・中・高等学校に出向き、望まない妊娠、HIVを始めとした性感染症予防、飲酒、喫煙等についての健康教育を実施。</p> <p>2 思春期健康教育の推進について小中校長会及び各高校への周知を行う。</p> <p>3 講話内容の質の向上を目的に、中学生、高校生に対するアンケート調査を実施する。</p> |
| 評価   | <p>1 実施回数:1回<br/>(中学校1回、小学校3件、高等学校1件より申し込みを受理していたが、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、中止となった。)</p> <p>2 周知は未実施</p> <p>3 アンケート回収率 事業未実施</p>   | <p>1 実施回数:4回(小学校2件、中学校1件、高校1件)</p> <p>2 周知は計画通りに実施。</p> <p>3 アンケート回収率は100%。</p>  | <p>1 実施回数:6回(小学校3件、中学校1件、高校2件)</p> <p>2 周知は計画通りに実施。</p> <p>3 アンケート回収率は100%。</p>  |
| 改善点  | <p>令和2年度は新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、4件の申し込みがあったが中止となった。また、令和2年11月からは、課内の新型コロナウイルス対応にて業務量が増加したため、受付を中止することとなった。そのため、健康教育に周知についても実施を控えた。</p> <p>次年度は、学校の申し込みに随時対応し、周知についても再開していくこととする。</p> | <p>令和3年度は新型コロナウイルス感染症の流行が続いていたが、小中学校及び高校への周知も計画通りに行い、申し込みがあった学校に対しては、健康教育を実施した。</p> <p>思春期の健康教育については、学校独自の取り組みもあり、申し込み数に増加傾向はみられていないが、次世代の健康づくりを担う機関として、学校からの要望に随時対応していくことができるよう、周知と体制整備は継続する。</p> | <p>次世代の健康づくりとして、今後も幅広い視点で思春期の保健対策に取り組む必要がある。</p> <p>また、思春期を含む子ども世代を取り巻く健康づくりの課題は様々あることから、対策や指標の方向性についても検討が必要である。</p>                                       |

| 施策No. | 領域 | 施策               | 担当     |
|-------|----|------------------|--------|
| 17    | 全般 | 第2次健康おたる21普及啓発活動 | 地域保健SG |

目的:各分野における健康教育等を活用し、新たな団体等に対して重点的に普及啓発を図る。

目標:計画の概要説明(目標3,000人)、計画概要版の増刷(目標2,000枚)

|      | 令和2年度   | 令和3年度  | 令和4年度(見込)  |
|------|---|--|--|
| 実施内容 | ・各分野における健康教育等を実施する際に、併せて本計画について参加対象者に周知を行う。   | ・4年度は計画の最終評価年にあたることから、今年度は市民アンケートを実施する。  | ・各分野における健康教育等を実施する際に、併せて本計画について参加対象者に周知を行う。  |
| 評価   | 実績 11団体151人<br>うち新規団体・新規対象 11団体151人<br>(新規団体の割合 100%)   | 実績 7団体95人<br>うち新規団体・新規対象 7団体95人<br>(新規団体の割合 100%)<br>・市民アンケート実施(健康づくり、食生活)1,883人対象<br>・高校生アンケート実施 対象 市内8高校<br>アンケート対象者の成人と高校生に、計画の周知も併せて行った。 | 実績 19団体148人<br>うち新規団体・新規対象 19団体148人<br>(新規団体の割合 100%)                                  |
| 改善点  | 引き続き健康教育等の機会を積極的に活用しながら、普及啓発を図る。<br>新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、(株)アクサ生命との共同事業の実施は中止したが、今後も連携を強化し啓発に努める。 | 引き続き健康教育等の機会を積極的に活用しながら、普及啓発を図る。R4年度は計画の最終評価を予定している。   | 引き続き健康教育等の機会を積極的に活用しながら、普及啓発を図る。<br>保健所のみで啓発を図ることには限界があることから、次期計画においては、周知啓発方法も併せて検討する。 |